

労働組合の交渉は春闘だけでは終わらない この夏も職場の想いを伝えます

WING

日本航空ユニオン宣伝ニュース
No 525 (14-08)
2023年 04月 14日

Tel: 03-5756-8690 URL <http://www.jlu.co.jp> e-mail honbu@jlu.co.jp

23 春闘では、急激な物価高騰と深刻な人材不足を背景に、大企業の多くは労働組合の要求に満額で応えました。日本航空も「最大労組の要求を上回る回答」と報道されています。

労働条件改善は組合が要求し、会社が応えるもの

今年の賃上げの流れは、政府主導で昨年の夏から始まっています。岸田首相が「賃上げは企業の社会的責任、3%以上の賃上げを実現してほしい」と述べ、経団連も加盟企業に例年よりも強く賃上げを呼びかけました。その結果、異例の回答になったわけですが、労働組合の存在感は年々薄くなっています。

労働組合が 6000 円のベアを要求し、7000 円の回答があったことになっている JAL グループには複数の組合があります。私たち日本航空ユニオンは 4.5% のベースアップを要求していました。会社は「いろんな組合の要求を聞いて決めている」と説明しています。今後も職場の声をしっかり聞いて、堂々と会社に届けていきます。



組合加入は一人ひとりが自由に決められる



日本航空の地上職、客室乗務員は複数ある組合から加入する組合を自分で決めることができます。そして、どこの組合に所属していても平等です。会社にいると賃金の他にも改善してほしいことが出てきます。「サービス残業」「年休取得」「ハラスメント」等々。労働組合と一緒にその解決方法を考えます。

日本航空の場合、昔作られたルールがそのままだったりするので、声を上げて会社を納得させれば変えられます。ちょっとしたことでも拾い上げてもらえる小さな組合に入るのも選択肢の一つでしょう。「君となら、変えていける」、私たちは日本航空ユニオンです。

23 春闘要求を継続し夏闘へ こだわりは？

争議権を確立している 23 春闘要求について夏闘でも交渉していきますが、項目を絞って 23 夏闘要求を提出します。夏期一時金の話がメインになるものの、その他身近な問題の改善も目指します。23 春闘の主な要求は以下のとおりです。

- 各種手当の増額・新設
- 安全に関する要求（人員、職場風土、部品不足など）
- 勤務や権利に関する要求
(時短、出張、通勤、シニア制度など)
- 休暇取得についての要求
- 転勤・単身赴任に関する要求
- ST 制度に関する要求
- 職員・家族の健康に関する要求

23 夏闘 JAL グループ全社員アンケート 取り組み開始

改めてアンケートで職場の声を集めます。春闘回答で夏の一時金は 2.0 ヶ月と提示されていますが、それで協定を締結したわけではありません。私たちは春闘要求の段階で 3.0 ヶ月+10 万円の要求を掲げ交渉しています。22 年度決算と 23 年度以降の見通しが発表された後に、夏闘交渉が始まります。このアンケートでは夏 2 ヶ月の是非を問い、その理由も聞きます。

また、職場で起きている細かい問題や、改善させたい諸手当の要求根拠を記入していただければ、団交で会社に伝えます。組合員以外の方もご一緒に取り組みましょう。



アンケートはこちらから

HMZ の体制構築に向けて協議中

23 春闘の最中から、羽田整備の組織改編や勤務時間変更に関する事務折衝を羽田支部で進めてきました。「人はいない」「時短はできない」「外航受託は受け入れる」という条件下で、人員配置や勤務時間を工夫しても限界があります。JALEC/整備本部からは、昼間帯に整備できるように、本社側に働きかけているようですが、組合からも追及していきます。一方で、時短や手当に関しては組合と会社の交渉によって解決する必要があります。そこで働く整備士の声を集め、夏闘で訴えていきます。

時短

羽田航空機整備センター(HMZ) と交渉していても、年間総労働時間の縛りがあって、なかなか話が進みません。

夜勤のあるシフト勤務は、元々他の勤務より労働時間が短く設定されており、これ以上差を付けるのは難しいと言います。しかし、現場で働いている人達が無駄と言える時間があるのなら、検証して時短しても問題ないはずです。遅番や夜勤で健康な生活が送れない仕事をしている人に対し、労働時間の差を見て、「不公平だ」という人がどれだけいるのでしょうか？

高速代

今回の勤務変更で 26 時終業の S 勤務に関しては、ピックアップの方法を見直して、バス利用はなくなるそうです。

社員の負担軽減を考慮するなら、マイカー通勤者の負担も考えるべきでしょう。JALI に団交で訴えても「公共交通機関での出退社が基本、補助は現行水準で適正と考えている」という回答しかありません。交通費は出向者にも JALEC が支給しています。私たちはタクシー配車がある勤務のところだけでも、高速代を全額支給するように求めています。

手当

「人もいない」「器材もない」中で、稼働強化になる勤務を導入します。春闘でも各種手当の改善を求めましたが、ベア以外に月々の手取りが上がるものはありませんでした。シフト手当、土日祝手当は広く多くの職場に関わってくるものです。整備に特化したものでは確認主任者手当、AFRS 手当などがあります。今回の組改のタイミングで、資格関係なく整備職に払われるもの、例えば「屋外作業手当」に回答があれば、辛い勤務にも少しは耐えられるかもしれません。

今後、人事連絡があり、新しい組織に変更される予定ですが、このような変更の際にはミスが発生しやすくなります。困難な業務や対応が難しいことがあれば、周囲の人たちと相談し、共に対策を考えましょう！

いま、声をあげよう。
君となら、
変えていける。

第94回
2023年
メーデー

M DAY DAY



働くものの団結で生活と権利を守り、
平和と民主主義、中立の日本をめざそう

- 物価上昇を上回る大幅賃上げ実現
- 賃下げなしの労働時間短縮実現
- 誰もが働けば普通に暮らせる賃金の確立を 均等待遇実現
- 最低賃金はどこでも誰でも 1500 円、全国一律最賃法制化の実現

WEB配信あります

YouTube

メーデー見える化
チャンネル



第94回メーデー
2023年 5.1 月 代々木公園

航空連の旗が目印 「集会」10:00~「テモ行進」11:20~ 交流会も実施予定